

週刊 SSH (4月28日)

国立科学博物館実習(1年)

SSIの授業では国立科学博物館実習を毎年、実施しています。目的は、多くの展示物を見て不思議に出会い、刺激を受け、自主的に向き合い、生徒どうしで展示物について説明し合い、科学の楽しさを伝える練習をすることが主なものです。教科書に載っているような基本原理は決して当たり前のことではなく、科学者が観測し、実験し、悩みながら得てきたものだということがよく分かる展示でした。



A ノーベル賞受賞科学者



B 加速器模型



C 質量について



D 太陽の構造模型

Aはノーベル賞を受賞した日本人科学者の論文などが展示されていました。

Bは筑波にある加速器の模型の展示です。ケーブルなどは非常に複雑なものでした。

Cはmolについて様々な物質の1モルの重さや体積の違いを実感できました。

Dは太陽の構造模型で中心では核融合をして莫大なエネルギーが生産されています。